

御杖小学校 御杖中学校 通信

～礼儀正しく あいさつの声がひびく 笑顔あふれる学校をめざして～

2026年1月

JICA（青年海外協力隊）の方々と 小学校・中学校

～国際理解学習を積み重ねています～



以前にも通信でお伝えしましたが、従来より取り組んでおります国際理解教育の今年度のまとめとして、12月と1月に再びJICA（ジャイカ）の方々をゲストティーチャーとして呼びました。授業に参加したのは小学校4～6年生と中学1～2年生。小中合同で学習に取り組みました。12月の授業内容は、2001年に発行された「世界がもし100人の村だったら」という本の内容をワークショップ形式で理解していく形でした。世界で話されている様々な言語の割合はどれくらいなのか。民族の割合は？国土の面積の割合は？富の分配の割合は？教育を受けることができる人の割合は？と、自分に渡されたカードの指示に従って教室を移動すると、結果として視覚的にその割合が把握でき、世界の現状を実感として体験できるという具合です。

1月の内容はその発展的な内容で、それぞれのグループが様々な条件が設定された世界の国々になりきります。利益を得るために商品を製造したり、資源を輸出したり、逆に、必要な原材料を輸入したり、技術や情報を売買したりしながら「貿易ゲーム」を繰り返します。結果として、それぞれの国に与えられた初期条件によって、大きな利益の差（経済格差）が生まれてしまうことを知り、そこから実際の世界で起きている「国どうしの格差」のカラクリを、体験的・共感的に知ることができるというものでした。子どもたちからは「へ～そういうことか！」「この条件の国は日本に似てるね。」「私の国は資源が無い国だから最初から不利に思う。」「お金持ちの国にはどんどんお金が集まるのか！」など、色々な声が聞こえてきました。どちらの授業においても、子どもたちも、教員もワイワイと楽しみながら熱心に取り組み、あっという間に時間が経ちました。世界情勢のニュースが飛び交う現在です。これからの子どもたちに必要な学習のひとつとして、国際理解学習に今後も取り組んでいこうと考えています。



避難訓練を更にレベルアップしました！ 小学校・中学校

1月15日避難訓練を行いました。今年度最後の避難訓練でしたが、今回は児童生徒が校内の様々な場所で自由に過ごしている「休み時間」に「予告なく」（何日かは伝えていますが）緊急放送が入るという設定で行いました。災害や緊急事態はいつ何時起こるかはわかりません。いつ、どこにいてもその時に自分がとるべき行動を「先生がいなくても」自分で判断できるように、文字通り「訓練」を重ねていきたいと思ひます。勿論、教員たちだけの訓練や研修も長期休暇の期間に実施しています。何よりも大切なのは「命」です。子どもたちが、「自分の命は自分で守る力」を身に付けることが、これからの人生において対峙すべき様々な局面を乗り越える「生きる力」の第一歩であると思ひます。



子どもたちが自分で判断し、即座に安全姿勢をとりました。



学年も別々に、子どもたちが先頭で自ら避難を始めました。



運動場の避難場所に向かって、個々に集まり始めています。

曾爾小中学校とたくさん交流しています。

小学校



1月28日、1年生は曾爾小中学校を訪れ、同級生7名と交流しました。過去に同じメンバーで保育所の「お泊まり保育」を経験したとのことでしたが、久しぶりの再会に、緊張しながらのスタートでした。自己紹介、カルタ遊び、2年生との合同体育と交流を進めるうちにどんどんリラックスしてきたようで、休み時間も一緒にブランコをしたり、折り紙をしたり…とても楽しい時間を過ごせました。次回（2月16日）は御杖小学校にご招待します！

六年



6年生も1年生と同日に、交流をしました。メンバーはつい最近（笑）一緒に修学旅行に行ったお友達です。まずは音楽の授業。雅楽を鑑賞し、「大きな古時計」や「となりのトトロ」を共に歌いました。次に算数の授業。「タングラム」の学習をし、ペアで相談しながら協力して作りたい形を作っていました。普段より多い人数で歌ったり、皆と意見を交わしながら考えたり、6年生も充実した時間をすごせました。次回は1年生と同様、2月16日に御杖小学校にお招きします！

中学校



1月29日、曾爾小中学校の生徒が御杖中学校を訪れ、合同授業の形で交流しました。昨年度一緒に広島に修学旅行にいったメンバーです。当日になって訪問予定時刻が近づいてきますと、子どもたちもソワソワと落ち着かない様子。その微笑ましい姿に心が和みました。授業者は私（校長）で、「視覚障害・点字システムについて～身の回りのやさしさを知ろう～」と題して学習しました。視覚障害についての正しい理解や社会の実情、視覚障害への支援（道具や商品開発）の様々な形の紹介、視覚障害者に会った際の声かけや支援の仕方…等を急ぎ足の授業展開でしたが、全員が真剣に、時には和やかに学習に取り組んでいました。授業者としても楽しく、非常に充実した時間でした。あっという間に終了時間を迎え、お見送りの時は、両校ともお互いに見えなくなるまで「さよなら～バイバイ～」といつまでも手を振り合っていました。次回は2月10日を予定しており、私たちが曾爾小中学校に向かいます。授業内容は、点字システムの理解と、実際に点字盤を使って点字を打って簡単な単語を表記してもらおうと思ひます。様々な学習に共に取り組みながらも、友情が育めるような交流をこれからもどんどん増やしていきたいと思ひます。

収穫した大根・白菜でお漬物を作ろう！ 小学校

ふるさと学習の中で3・4年生は、9月から大根と白菜を育てていました。一生懸命取り組んだ甲斐あって、12月には、白菜が8個、大根が約30本収穫できました！大根は早速日陰干しに。10日ほど経ってから「塩漬け」、そして麹や調味料を加え「本漬け」をして立派な沢庵に。白菜も同様に美味しい漬物に。たくさんできたので、作った子どもたちはそれぞれの家庭に持ち帰り、教員も「おすわげ」（笑）をいただきました。味は本格的で抜群！とても美味しかったです。最近はお漬物は手軽にスーパーで買うものイメージがありますが、手間暇のかかる日本古来の製法を学び、実践し、味わうことも子どもたちの「生きる力」につながるのだと思ひます。

